

事業番号	14 03 06	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	初度調弁整備事業費			担当課	部局	教育委員会事務局
					課・室	高校教育課
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 4 安全・安心・信頼の学校づくり			実施期間	H18(H15) ~

1 事業の概要

目指す姿	老朽した校舎や体育施設の改築に伴う必要な備品類の整備を行うことで教育環境の向上を図る。		
現状	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した校舎や体育施設の改築に伴う備品類の整備 高校再編施設整備に伴う備品類の整備 		
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 長野県耐震改修促進計画、県有施設耐震化整備プログラム 第1期長野県高等学校再編計画	

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に開校した屋代高等学校附属中学校の備品類の整備を行う。 平成25年度に開校した飯田OIDE長姫高等学校の備品類の整備を行う。 平成25年度に完成する蘇南高等学校特別教室棟の備品類の整備を行う。 平成26年度に開校する飯山2次統合校や諏訪清陵高等学校附属中学校について、備品類の整備を行う。 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H24事業実績		H25
				(当初)	(決算)	(当初)
	高校再編施設整備に伴う初度調弁整備	直接	H24に開校した屋代高等学校附属中学校の初度調弁費用 H25に開校した飯田OIDE長姫高等学校の初度調弁整備 H26に開校する飯山2次統合校、諏訪清陵高等学校附属中学校の初度調弁整備	62,007	62,007	63,822
	老朽校舎改築に伴う初度調弁整備	直接	H25に完成する蘇南高等学校特別教室棟の初度調弁整備			569
	老朽体育施設改築に伴う初度調弁整備	直接	丸子修学館高等学校、松本県ヶ丘高等学校体育施設の初度調弁費	1,744	1,744	
			合計	63,751	63,751	64,391

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	現況(見込)	H24			H25目標
		当初予算	4,719	14,919	63,751	64,391			目標	成果	達成状況	
		補正予算		0			高校再編施設整備	4校	4校	4校	達成	4校
		合計(A)	4,719	14,919	63,751	64,391	老朽校舎改築	1校	1校	1校	達成	1校
	Aの財源	国庫支出金	0	0	0							
		県債	0	0	0							
		その他(繰入金)	0	0	0							
		一般財源	4,719	14,919	63,751	64,391						
	ト	決算額(B)	4,719	14,919	63,751							
概算人件費	職員数(人)	11.00	11.00	11.00	11.00							
	概算人件費(C)	91,487	90,838	90,838	90,838							
	概算事業費(B(A)+C)	96,206	105,757	154,589	155,229							

目標に対する成果の状況	高校再編施設整備に伴う初度調弁整備事業、老朽体育施設改築に伴う初度調弁整備事業について、概ね事業計画どおり実施できた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・事業のニーズは引き続き高く、県民の関心も高いため、長野県教育委員会が主体となって、魅力作りやスケールメリットを活かした再編を実施していく。